



平成 22 年 7 月 14 日

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ

公立大学法人大阪市立大学
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
HP: <http://www.osaka-cu.ac.jp/>

日中伝統芸能競演会 “浄瑠璃と評弾の至芸” の参加者を募集します。

大阪市立大学は、平成 22 年 10 月 9 日（土）に、本学の 10 階にある学術情報総合センター大会議室にて、市民の方を対象に、大阪と上海を代表する伝統芸能、浄瑠璃（義太夫節）、評弾の名手をお迎えした競演会を開催いたします。

浄瑠璃（義太夫節）は、江戸時代に大阪で生まれ人形浄瑠璃の「語り」として全国に普及してきた、日本を代表する伝統芸能です。一方の評弾は、中国の蘇州で誕生し、上海で全国的な芸能に成長してきた評話（日本の講談にあたる）と弾詞（三弦と琵琶の弾き語り）からなる語り芸です。

両者に共通するのは、芸能として古典化しながらも、19・20 世紀の大阪・上海という近代都市で盛期を迎え、新しい都市文化の創造に関わってきた点にあります。今回の競演会では、浄瑠璃の人間国宝竹本住大夫師、上海評弾界のトップスター高博文、朱琳両氏を迎え、その至芸を味わう競演会を市民に公開で開催すると同時に、こうした至芸を有する日中伝統芸能の市民との共生の可能性を探る鼎談を組み合わせ、今後の交流促進を図っていきます。

また、この催しは大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター・重点研究「アジア海域世界における都市の文化力に関する学際的研究」と、上海師範大学中国近代社会研究センターとの共同研究に基づくものであり、また、本学 130 周年記念事業の一環でもあります。

記

- 1 日 時 平成 22 年 10 月 9 日（土） 13 時 00 分～17 時 30 分 （ 12 時開場）
- 2 場 所 大阪市立大学 学術情報総合センター10 階大会議室
- 3 参加費 無 料
- 4 出演者及び演目等

< 評 弾 > 解説：周 震華（上海評弾団副団長）、岩本 真理（文学研究科准教授）
演目：『楊八姐』比武の段、『白蛇』賞中秋の段、『西廂』回東の段
演唱：高 博文（2004 年上海十大文化名人、2005 年中国曲艺節節目金獎受賞）

朱 琳 (2008年江浙沪優秀青年演員電視大賽“評彈金榜”
十佳演員)

<文楽素浄瑠璃> 解説：阪口 弘之 (本学名誉教授、神戸女子大学教授)

演目：『伊賀越道中双六』沼津の段

太夫：竹本 住大夫 (人間国宝)

三味線：野澤 錦糸

ツレ・胡弓：豊澤 龍爾

<鼎 談> テーマ：「伝統：未来への眼差し」

竹本 住大夫、朱 琳 (予定)、高島 知佐子 (司会：都市研究プラザ)

- 5 申込方法 往復ハガキに、住所・氏名・電話番号をご記入の上、6の申込先宛にお送りください。
返信用ハガキの宛名も必ずご記入ください。
- 6 申込先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
大阪市立大学文学部事務室「日中伝統芸能競演会」係
TEL 06-6605-2531 (平日 9時～17時)
- 7 申込締切 平成 22年 9月 11日 (必着)
- 8 定 員 200名 (申込多数の場合は抽選。結果は返信ハガキで9月20日頃に発送します。)
- 9 主 催 大阪市立大学大学院文学研究科・重点研究プログラムグループ
共 催 上海師範大学・大阪市立大学都市研究プラザ
協 力 財団法人文楽協会

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学文学部事務室「日中伝統芸能競演会」係

TEL 06-6605-2531 (平日 9時～17時)